天日公子（民主クラブ）

平成24年度予算基本方針

◀毎年発刊されるへ～そ～なんだ

問　平成24年度予算の基本方針は。

答　①第5次富良野市総合計画の推進②「身の丈にあった予算」の堅持③「協働のまちづくり」これら3点の基本方針を基に編成作業を進める。

問　市民への情報公開は。

答　予算編成に臨む基本的な考え方は市のホームページで公開する。

問　予算編成過程の公開は。

答　議会前の予算編成を明らかにすることは難しい。議会で議決した後のホームページでの状況づくりは必要と思う。

特定不妊治療費の助成は

問　特定不妊治療に対する富良野市独自助成の考えは。

答　妊婦健康診査受診券交付の拡大や、女性特有のがん検診などに取り組み始めたところで、特定不妊治療に対しては助成する考えはない。

問　道の助成制度を受けやすくするために、治療した機関でも申請できるように制度の改善を要望してほしい。

答　市長会主催の保健医療福祉担当課長会議で、検討材料の一つとして提案協議していく。

50年経過の戸倉育英基金

問　戸倉育英基金の残額が全く無くなる前に、条例にある寄付金賛同者を募ることについての考えは。

答　平成25年度末には基金残高が6千円となる。市民からの賛同を得る前に、故戸倉寅三郎氏の功績を讃え、育英基金については十分検討していく。

広瀬寛人（ふらの未来の会）

通信インフラの整備

問　自治体が果たす役割は。

答　生活利便性を高め地域経済の発展に資する重要な社会資本との認識から、市としても地域・関係団体・企業と共に整備推進や普及活動に取り組み、整備促進の要請等を行う。

◀通信インフラの整備

商工業振興策は

問　現状把握と振興策は。

答　平成19年度の小売業の商店数は241店、年間商品販売額344億円で減少傾向。しかし、本年度実施した調査では、平成31年には、昭和60年の半分程度の195店、販売額は同額程度の359億円と推測。商店の新陳代謝を促す為の制度、新事業・商品開発の支援制度、新規イベントの支援を想定。店舗改修に向けた改築費を限度内で補助するなどの支援を商工会議所や商工会との意見交換をしながら制度設計を進めたい。

問　小口金融・融資制度のサービス向上は。

答　他の自治体においても政府系金融機関の融資事業への利子補給といった事例もあり、今後のあり方を検討する。審査方法の簡素化などが可能か金融機関と情報交換を引き続き行いたい。

住宅施策は

問　北麻町公営住宅の方向性は。

答　現地建て替え。バランスが取れた世帯構成が入居可能な住宅の供給が必要。1階低層部には高齢者、障がい者世帯の優先入居を可能とする管理特定目的住宅としての供給を計画し、市が直接建設する考え。